

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
連携	市川学B	オムニバス	後期・秋学期	選択	講義	2
<b>【授業のねらい】</b> 大学コンソーシアム市川に参加する5大学の共同開発による授業。 市川市は都市化されているが、地域により豊かな自然環境が残され、多様な生物が生息している。本科目では、市川の自然や環境問題を理解し、「地域つながり力」を持つための方法を学ぶ。 市川市の理解を深めるためには、市川学A～Dを全て履修することが望ましい。						
<b>【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】</b> <b>学修成果(達成目標)；</b> 課題をまとめ、自らの考えを述べられる。 自らの置かれた地域社会についてさまざまなことを知る。 <b>成績評価の方法；</b> レポート80% 学習内容を的確にまとめ、論理的に自分の考察を述べているか。 受講態度20% 各講座の課題を期限内の提出する。						
<b>【教科書・参考書】</b> 教科書： なし 参考書：						
<b>【その他】</b> 授業の会場が常に変わるので、学内掲示等で確認しておくこと。						
<b>【授業の内容・スケジュール】</b>			<b>【準備学習の内容】</b>			
1	市川の水文環境 千葉商科大学商経学部教授 杉田 文		事前学習： 市川市の水文環境について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
2	じゅんさい池緑地の自然 千葉商科大学商経学部教授 杉田 文		事前学習： じゅんさい池緑地の自然について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
3	市川の動植物～大町公園の自然～ 市川市自然博物館 金子謙一学芸員		事前学習： 市川市の動植物（特に自然）について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
4	市川の動植物～「野鳥がらみた市川市の自然」と「カラス等の行政における野生動物対策」～ 市川市 生活環境整備課 鈴木弘行専門員、守田文雄		事前学習： 市川市の動植物（特に野鳥、カラス）について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
5	市川の地形と文化 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 市川市の地形と文化について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
6	市川と環境問題 千葉商科大学政策情報学部准教授 杉本 卓也		事前学習： 市川市の環境問題について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
7	市川と環境問題 千葉商科大学政策情報学部准教授 杉本 卓也		事前学習： 市川市の環境問題について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
8	市川の地形と災害 千葉商科大学人間社会学部教授 吉竹 弘行		事前学習： 市川市の地形と災害について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
9	市川の地形と災害 千葉商科大学人間社会学部教授 吉竹 弘行		事前学習： 市川市の地形と災害について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
10	市川の地形と文化 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 市川市の地形と文化について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
11	現地踏査～大町自然観察園～ 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
12	現地踏査～市川自然博物館～ 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
13	現地踏査～国分調節池～ 当該館学芸員、千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
14	現地踏査～市川市内環境関連企業～ 当該館学芸員、千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
15	現地踏査～野鳥観察園～ 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			